



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 札

上場会社名 北海道中央バス株式会社
コード番号 9085 URL <http://www.chuo-bus.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平尾 一彌

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大森 正昭

TEL 0134-24-1111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	25,046	5.2	561	28.6	657	24.2	437	238.0
23年3月期第3四半期	23,811	△7.0	436	67.0	529	51.6	129	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 250百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 17百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	16.68	—
23年3月期第3四半期	4.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	33,850	25,379	74.6
23年3月期	32,818	25,299	76.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 25,244百万円 23年3月期 25,150百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,340	5.0	700	△8.9	800	△8.9	480	24.7	18.55

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	31,460,000 株	23年3月期	31,460,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	5,586,756 株	23年3月期	5,037,729 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	26,225,644 株	23年3月期3Q	26,482,954 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響からの回復の兆しが見られたものの、欧州の財政不安や円高等により、依然として先行きが不透明な状況で推移しました。道内経済においても、住宅投資等に持ち直しの動きが見られますが、公共投資の減少等により、厳しい状況が続きました。

このような経営環境のなか、当社グループは、地域に密着した営業活動を積極的に展開するとともに、より一層の収支改善に努め、経営体質の強化等に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高25,046百万円（対前年同期比5.2%増）、営業利益561百万円（同28.6%増）、経常利益657百万円（同24.2%増）、四半期純利益437百万円（同238.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 旅客自動車運送事業

乗合バス部門は、札幌市内における路線の新設や、高速バスにおける増回及び乗車箇所の増設を行うなど、利便性の向上に努めたほか、道内バス会社13社共同で、都市間高速バスの広告宣伝活動を引き続き実施しました。前期に比べ雪解けが早く、バスから自転車への乗り換えが早まったことや、東日本大震災の影響による空港連絡バス等の輸送需要の落ち込みがありましたが、札幌市営地下鉄との乗継割引制度におけるバス事業者の負担解消等により、増収となりました。貸切バス部門は、景気低迷、少子化、旅行形態の多様化等に加え、東日本大震災の影響により輸送需要が減少し、減収となりました。

この結果、売上高は15,561百万円（対前年同期比0.9%増）、営業利益は486百万円（同37.1%増）となりました。

なお、貸切バス部門は、通常の営業形態として夏期が繁忙期であるため、第1四半期及び第2四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

② 建設業

建設業は、公共事業の予算規模縮小や民間設備投資が低水準で推移するなか、受注確保に努めたことで、増収となりました。

この結果、売上高は5,912百万円（対前年同期比23.2%増）、営業損失は14百万円（前年同期は113百万円の営業損失）となりました。

③ 清掃業・警備業

清掃業・警備業は、契約先の経費削減を背景とした解約や契約内容の見直し等がありましたが、臨時物件を受注したことにより、増収となりました。

この結果、売上高は1,949百万円（対前年同期比1.5%増）、営業利益は70百万円（同3.7%減）となりました。

④ 不動産事業

不動産事業は、不動産販売収入が減少しましたが、賃貸収入は増加しました。

この結果、売上高は617百万円（対前年同期比0.6%増）、営業利益は242百万円（同3.8%減）となりました。

⑤ 観光事業

小樽天狗山スキー場は、天候不順によるロープウェイ利用の減少等により、減収となりました。ニセコアンヌプリ国際スキー場は、外国人来場者の減少があるなかで、前年並みの収入を確保しました。ホテルニセコいこいの村は、学生団体客が減少しましたが、個人客が増加したことで前年並みの収入となりました。

この結果、売上高は326百万円（対前年同期比2.4%減）、営業損失は237百万円（前年同期は207百万円の営業損失）となりました。

なお、当セグメントは、スキー場の営業が冬期間中心であるため、第4四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

⑥ その他の事業

飲食業においては、既存店舗において、利用客の減少等がありましたが、6月から長崎ちゃんぽん専門店「リンガーハット」5店舗の運営を順次開始したことにより、増収となりました。自動車教習所は、授業料収入が減少しました。旅行業は、東日本大震災の影響による団体旅行の中止や延期等がありましたが、新規法人団体を獲得したことにより、増収となりました。

この結果、売上高は2,754百万円（対前年同期比2.0%減）、営業利益は30百万円（同52.0%減）となりました。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,323,672	6,155,852
受取手形及び売掛金	2,583,669	3,482,069
有価証券	198,657	83,673
販売用不動産	16,952	7,203
原材料及び貯蔵品	160,845	147,169
未成工事支出金	98,157	416,862
その他	419,951	839,840
貸倒引当金	△1,679	△2,307
流動資産合計	9,800,226	11,130,363
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,460,861	18,875,474
減価償却累計額	△13,761,639	△13,973,855
建物及び構築物(純額)	4,699,222	4,901,619
車両運搬具	25,440,323	24,261,319
減価償却累計額	△21,691,432	△21,058,374
車両運搬具(純額)	3,748,890	3,202,944
土地	10,684,490	10,753,755
その他	4,240,244	4,366,719
減価償却累計額	△3,771,325	△3,830,793
その他(純額)	468,919	535,925
有形固定資産合計	19,601,523	19,394,245
無形固定資産	69,197	117,690
投資その他の資産		
投資有価証券	2,665,849	2,501,315
その他	717,870	730,884
貸倒引当金	△35,850	△23,547
投資その他の資産合計	3,347,869	3,208,652
固定資産合計	23,018,590	22,720,589
資産合計	32,818,816	33,850,952

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,633,687	2,169,013
未払法人税等	276,286	273,640
賞与引当金	179,949	89,608
その他の引当金	3,390	10,807
その他	2,009,034	2,589,443
流動負債合計	4,102,347	5,132,513
固定負債		
退職給付引当金	2,359,480	2,379,746
役員退職慰労引当金	250,252	260,085
その他	806,782	699,427
固定負債合計	3,416,514	3,339,259
負債合計	7,518,862	8,471,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	751,101	751,101
利益剰余金	23,232,051	23,523,206
自己株式	△1,145,822	△1,171,164
株主資本合計	24,937,330	25,203,143
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213,512	41,657
その他の包括利益累計額合計	213,512	41,657
少数株主持分	149,110	134,378
純資産合計	25,299,953	25,379,179
負債純資産合計	32,818,816	33,850,952

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	23,811,593	25,046,681
売上原価	21,700,542	22,806,141
売上総利益	2,111,050	2,240,539
販売費及び一般管理費	1,674,091	1,678,650
営業利益	436,959	561,888
営業外収益		
受取配当金	32,986	35,334
持分法による投資利益	13,951	15,213
その他	46,514	45,452
営業外収益合計	93,452	96,000
営業外費用		
支払利息	925	315
自己株式取得費用	—	169
営業外費用合計	925	485
経常利益	529,485	657,403
特別利益		
固定資産売却益	16,369	82,778
受取保険金	—	27,411
その他	78,699	16,389
特別利益合計	95,069	126,579
特別損失		
固定資産除売却損	23,973	29,376
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	148,200	—
その他	66,860	13,664
特別損失合計	239,033	43,041
税金等調整前四半期純利益	385,521	740,942
法人税、住民税及び事業税	344,910	446,179
法人税等調整額	△72,303	△127,844
法人税等合計	272,607	318,335
少数株主損益調整前四半期純利益	112,914	422,607
少数株主損失(△)	△16,483	△14,732
四半期純利益	129,397	437,339

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	112,914	422,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95,178	△171,789
持分法適用会社に対する持分相当額	△93	△65
その他の包括利益合計	△95,272	△171,854
四半期包括利益	17,641	250,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,125	265,484
少数株主に係る四半期包括利益	△16,483	△14,732

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント							調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	旅客自動車 運送事業 (千円)	建設業 (千円)	清掃業・ 警備業 (千円)	不動産事業 (千円)	観光事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	15,491,368	5,768,734	1,224,139	416,052	316,650	1,829,735	25,046,681	—	25,046,681
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	69,812	143,779	725,843	201,857	9,533	924,390	2,075,217	△2,075,217	—
計	15,561,180	5,912,514	1,949,982	617,910	326,184	2,754,126	27,121,899	△2,075,217	25,046,681
セグメント利益又は セグメント損失(△)	486,344	△14,658	70,026	242,117	△237,678	30,858	577,009	△15,120	561,888

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。